



部分放電試験受託サービス

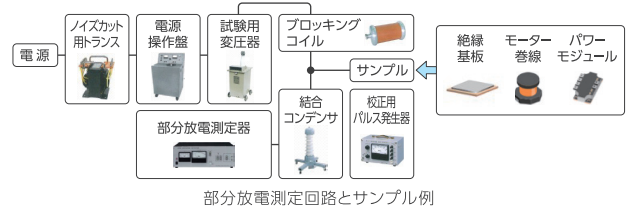
フジクラ・ダイヤケーブルは、新たに部分放電試験の受託サービスを開始しました。部分放電測定装置の国内パイオニアメーカーとしての技術と経験を活かし、ひと味違う測定サービスをお客様に提供しています。

部分放電とは電気機器の絶縁体中のボイド等の欠陥部で生じる微弱な放電であり、絶縁体の劣化を進展させます。そのため、部分放電を検出することは潜在的不良を未然に防止することに役立ちます。

しかし、部分放電試験を実施するには設備投資や測定のノウハウが必要です。当社は1969年に部分放電試験装置の販売を開始して以来、長年にわたって電動機やパワー半導体等の測定用途に豊富な実績があり、これらの経験や知見を活用した測定

サービスを提供しています。

自動測定システムでは最大放電電荷、放電開始電圧などの特性が自動検出できる他、様々な規格に準拠した試験ができます。また、測定エリア周辺はノイズの影響を受けにくい環境としている他、サンプル形状に適した試験電極や、サンプル沿面の放電を抑制するためのフッ素コートのご用意も可能で、ノイズの影響を極力排除した測定結果を得ることができます。



■ SDGs17の目標に該当するポイント



絶縁体の微弱な劣化信号を検出する部分放電測定技術を幅広く提供することは、電気絶縁製品に高い信頼性を与えることを実現し、技術の進歩に貢献します。

✉ 株式会社フジクラ・ダイヤケーブル 技術部

<https://www.fujikura-dia.co.jp/contact/>

業界最小のFPC接続コネクタ FFA2シリーズをラインアップ

携帯機器の小型薄型化に伴い、顧客からFPC接続コネクタのさらなる小型化要求が強まっています。この要求にこたえるため、開発したコネクタがFFA2シリーズです。

この製品は端子ピッチが0.15mmで業界最小、FPC嵌合時の高さが0.55mm、さらに1端子あたり2Aの大電流用端子を2端子付加したコネクタです。

業界最小でも当社独自の接続構造^{*1}とFPCロック機構^{*2}によって、高い性能が維持されます。

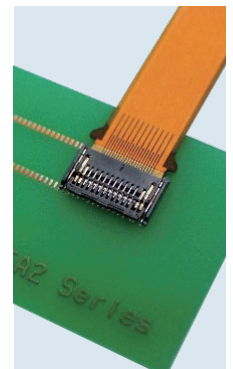
ウェアラブル機器等の携帯機器にお役に立てます。

^{*1} 当社独自の接続構造: 接触信頼性確保とFPC保持を兼ね備えた構造
^{*2} 当社独自のFPCロック機構: FPC保持力向上に特化した構造

■ 表1 製品仕様

	現行品	新製品
シリーズ	FF29B	FFA2
嵌合高さ	0.66 mm	0.55 mm
ピッチ	0.175 mm	0.15 mm
奥行	3.00 mm	
定格電圧	AC 50 V (r.m.s.) / DC 50 V	
定格電流	信号コンタクト: 0.2 A / pin 電源コンタクト: 2.0 A / pin	
耐電圧	AC 200 V (r.m.s.) / 1分間	
絶縁抵抗	DC 250V 50MΩ以上	
接触抵抗	信号コンタクト: 100 mΩ以下 電源コンタクト: 40 mΩ以下	
使用温度範囲	-55 °C ~ +85 °C	
芯数	信号コンタクト	13,14,18,20,23
	電源コンタクト	2

■ 図1 外観



■ SDGs17の目標に該当するポイント



当社のコネクタは小型化を追求しており、高機能化が進むスマートフォンやモバイル機器の市場要求に応え、その発展に貢献します。

✉ コネクタ事業部

ddk.contact@jp.fujikura.com